

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 小松島市国際交流協会

1 事業の趣旨・目的

小松島市及びその周辺で、円滑に生活できる日本語を習得する。

小松島市及び近隣地区に居住する外国人に、日常生活、日本での生活に必要な日本語を指導する。また日本の家庭料理の講習、地域の習慣としての阿波踊りなどの諸行事、近々予想される南海大地震、台風等災害時の対応など、多方面に渡って日本語を学習する。

地域に在住する外国人はほとんどが日本人の外国人配偶者か企業研修生であり、外国人配偶者の多くが永住権を持っている。しかし、仕事が忙しかったり、子供がいるため、既存の日本語教室には時間が合わない、託児がない、ということから、来られない人がたくさんいる。日本に来て、日本語教室に通いたくても、通えなかった学習者がほとんどだ。日本語のきちんとした学習がされていないので、言葉の使い方が来日 10 年近くなくてもよくわからない、という場合が見られる。そのせいで、周りの日本人とのつきあい方がうまくいかない、家庭生活でもストレスが溜まる、友だちができにくい、思ったような仕事につきにくい、といった悩みを聞く。うつ病になりました、との報告もある。漢字が読めない、書けないという悩みも深い。中国人でも不自由を感じている。

また、主婦という立場で日本人とつきあわなければならない日本人の外国人配偶者たちなのだが、暦などの日本の習慣、敬語ができない、などの悩みもある。お見舞いに行ったり、お祝いに行かなければならないこともある。徳島では特に日をこだわる風習があるが、彼女たちはわかっていない。上座、下座がわからなかったり、敬語ができなかったりで、苦労している。

託児があって、子供を連れて参加しやすい日本語教室を設置することは、外国人学習者の人権を守ることであり、地域の重要な課題だと認識している。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
2010 年 4 月 30 日	田村 澄香 岩浅 昌昭 佐野 善作	2010 年度の文化庁委託「わかる！ できる！！日本語教室」 実施について	開始の時期 募集・広報について 場所の選定

	村上 治郎 米山 健作 春山 節子 吉岡百合子 福本 敦子 村上久美子		プログラムについて クラス分け 託児をどうするか その他詳細の決定
2010年 6月17日	田村 澄香 岩浅 昌昭 佐野 善作 村上 治郎 米山 健作 村上久美子	2010年度「わかる！できる！！ 日本語教室」についての最終打ち 合わせ	予定学習者数 会場 プログラム・指導者の最 終決定 託児の詳細について
2010年 8月6日	田村 澄香 岩浅 昌昭 村上 治郎 米山 健作 春山 節子 村上久美子	現在の状況の報告 今後の予定	学習者参加状況の報告 学習内容報告 託児報告 今後の予定 今後、いかに指導するか
2010年 9月16日	佐野 善作 村上 治郎 福本 敦子 村上久美子	これまでの学習の報告 今後の予定	学習者参加状況の報告 学習内容報告 託児報告 今後の予定

【写真】



3 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称

「わかる！できる！！日本語教室2010」

② 開催場所

小松島市総合福祉センター
小松島みなと交流センター kocolo
新開幼稚園

③ 学習目標

小松島市及びその周辺で、円滑に生活できる日本語を習得する。

小松島市及び近隣地区に居住する外国人に、日常生活、日本での生活に必要な日本語を指導する。また日本の家庭料理の講習、地域の習慣としての阿波踊りなどの諸行事、近々予想される南海大地震、台風等災害時の対応など、多方面に渡って日本語を学習する。

④ 使用した教材・リソース

みんなの日本語 初級Ⅰ・初級Ⅱ・中級
みんなの日本語 初級Ⅰ・初級Ⅱ・中級の各国語翻訳版
みんなの日本語 漢字
日本語初級「大地」
にほんご敬語トレーニング
歌で覚える日本語
紙芝居
いつぼ・にほんご・さんぽ
はじめての授業キット
絵で学ぶ擬音語・擬態語カード
防災パンフレット「地震に自信を」
NHK「きょうの料理」など

⑤ 受講者の募集方法

新聞折り込みチラシ
徳島新聞「情報とくしま」欄掲載
小松島市広報
徳島新聞の地域ミニコミ紙に掲載
四国放送ラジオ「土曜ワイドとくしま」に村上会長・副会長出演、告知 2回
昨年度の学習者に資料を郵送
フィリピン人のパーティーに出席、告知

⑥ 受講者の総数 19人

⑦ 開催時間数(回数) 60 時間 (全 20 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
①	6月27日	3時間 9:00～ 12:00	8人	中国・中国語(4人) ロシア・ロシア語(1人) フィリピン・タガログ語(2人) コロンビア・スペイン語(1人)	教授者2人 補助者1人 5人	日本料理教室 (お弁当・キャラ弁づくり) 調理用語・数え方の学習
②	7月4日	3時間 9:00～ 12:00	5人	中国・中国語(4人) ロシア・ロシア語(1人)	教授者1人 補助者1人 5人	みんなの日本語の学習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・中級) 漢字学習 自己紹介 日本の手遊び
③	7月11日	3時間 9:00～ 12:00	5人	中国・中国語(3人) ロシア・ロシア語(1人)	教授者1人 補助者5人	みんなの日本語の学習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・中級) 漢字学習 手遊び、日本の童謡 (歌で覚える日本語)
④	7月25日	3時間 9:00～ 12:00	8人	中国・中国語(5人) ロシア・ロシア語(1人) フィリピン・タガログ語(1人) コロンビア・スペイン語(1人)	教授者5人 補助者1人 5人	みんなの日本語の学習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・中級) 日本地図・世界地図を使って、自分の今住んでいるところ、出身地を知ろう
⑤	8月1日	3時間 9:00～ 12:00	5人	中国・中国語(3人) ロシア・ロシア語(1人) コロンビア・スペイン語(1人)	教授者1人・1グループ 補助者5人	みんなの日本語の学習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・中級) 八千代連による阿波踊り講習

⑥	8月8日	3時間 9:00～ 12:00	6人	中国・中国語(5人) コロンビア・スペイン 語(1人)	教授者2 人 補助者5 人	みんなの日本語の学 習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・ 中級) 小松島警察署の警 察官による「交通事 故・地震・台風の話」 (多言語防災ハンドブ ック「地震に自信を」 を使用)
⑦	8月22日	3時間 9:00～ 12:00	4人	中国・中国語(3人) ロシア・ロシア語(1 人)	教授者1 人 補助者5 人	みんなの日本語の学 習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・ 中級) 昔話「ももたろう」
⑧	8月29日	3時間 9:00～ 12:00	6人	中国・中国語(4人) ロシア・ロシア語(1 人)フィリピン・タガロ グ語(1人)	教授者1 人 補助者5 人	みんなの日本語の学 習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・ 中級) 銀行の ATM の使い 方の日本語の学習
⑨	9月12日	3時間 9:00～ 12:00	6人	中国・中国語(3人) ロシア・ロシア語(2 人)フィリピン・タガロ グ語(1人)	教授者2 人 補助者4 人	日本料理教室(余っ た物を利用して) 調理用語の日本語の 学習
⑩	9月19日	3時間 9:00～ 12:00	9人	中国・中国語(5人) ロシア・ロシア語(2 人)フィリピン・タガロ グ語(2人)	教授者1 人 補助者4 人	みんなの日本語の学 習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・ 中級) ロシアの話
⑪	9月26日	3時間 9:00～ 12:00	7人	中国・中国語(5人) ロシア・ロシア語(1 人)フィリピン・タガロ グ語(1人)	教授者1 人 補助者 10人	みんなの日本語の学 習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・ 中級) 漢字学習
⑫	10月3日	3時間 9:00～ 12:00	5人	中国・中国語(2人) ロシア・ロシア語(2 人)フィリピン・タガロ グ語(1人)	教授者1 人 補助者4 人	みんなの日本語の学 習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・ 中級) 漢字学習
⑬	10月10	3時間	9人	中国・中国語(5人)	補助者5	みんなの日本語の学

	日	9:00～ 12:00		ロシア・ロシア語(2人) フィリピン・タガログ語(2人)	人	習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・ 中級) 漢字学習 フィリピンの話
⑭	10月17日	3時間 9:00～ 12:00	10人	中国・中国語(5人) ロシア・ロシア語(2人) フィリピン・タガログ語(3人)	教授者1人 補助者5人	みんなの日本語の学習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・ 中級) 漢字学習 中国・大連の話
⑮	10月24日	3時間 9:00～ 12:00	7人	中国・中国語(4人) ロシア・ロシア語(2人) フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人 補助者5人	みんなの日本語の学習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・ 中級) 漢字学習
⑯	10月31日	3時間	6人	中国・中国語(4人) ロシア・ロシア語(1人) フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人 補助者4人	みんなの日本語の学習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・ 中級) 漢字学習
⑰	11月7日	3時間	10人	中国・中国語(5人) ロシア・ロシア語(2人) フィリピン・タガログ語(3人)	教授者1人 補助者5人	みんなの日本語の学習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・ 中級) 漢字学習 敬語の学習
⑱	11月14日	3時間	8人	中国・中国語(4人) ロシア・ロシア語(2人) フィリピン・タガログ語(2人)	教授者1人 補助者5人	みんなの日本語の学習(初級Ⅰ・初級Ⅱ・ 中級) 漢字学習
⑲	11月21日	3時間	11人	中国・中国語(6人) ロシア・ロシア語(2人) フィリピン・タガログ語(2人) コロンビア・スペイン語(1人)	補助者5人	野外学習「みかん狩り」
⑳	11月28日	3時間	12人	中国・中国語(6人) ロシア・ロシア語(2人) フィリピン・タガログ語(4人)	教授者3人 補助者10人	日本料理教室

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)



第1回 開講式・お弁当教室

学習者のほとんどが主婦なので、彼女たちにとって、幼稚園・学校のお弁当は大きな悩みだ。日本人の母のように、子供の幼稚園のお弁当にかわいいキャラ弁を作ってあげたいが、その作り方がわからない。本を読めない。子供にかわいそうな思いをさせている、と思っている学習者がほとんどだ。

それから、お弁当ばかりではなく、舅、姑がいる家庭の主婦になった外国人の悩みは深刻だ。日本人夫の両親のごはんを作っている学習者もいる。筑前煮、肉じゃがなどの日本料理を夫の両親に作りたい、でも、作り方がわからない。一人の中国人学習者は一昨年の10月に来日、日本人夫の両親のごはんも毎日作っている。彼女は、当協会の文化庁の委託事業のチラシを見て、チラシを抱きしめたそうだ。「私は、ごはんをおいしく作りたいんです」

「どうして?」「おかあさんが、いつもごはんをたべるまえにおなじことをいいます。それを聞くと、わたしのごはんがまずいんだ、もっとおいしいごはんをつくらう、きっとわたしのごはんがすきじゃないとおもいます」と言う。

その言葉は、老いた母が言うのは、「すまんなあ」だった。

どちらも悪気はない。でも、その意味がわからないので、自分を責め続けてきたそうだ。その意味を教えたら、彼女は涙ぐんだ。その後、当協会のお弁当教室で、筑前煮を学んで、夕飯に作ったそうだ。舅、姑も納得の味で、「日本語教室でこんなことも教えてくれるのは信じられない」と両親も喜んで、日本語教室に送りだしてくれるようになったと言う。

今回は、「きょうの料理」の鶏の唐揚げのレシピにひらがなを振ったものを教材に使用して、少しでも調理用の日本語が理解できるようにした。

このお弁当教室は、大変好評だ。

なお、このお弁当教室は、イカロス出版(東京)の雑誌「毎日お弁当日和」の編集スタッフの目に止まり、2011年1月に取材を受け、4月発売予定の同誌に掲載される予定である。



第14回 漢字の学習

漢字がわからなくて困っている、ということで、漢字の学習の時間を増やした。

なかなか覚えるのが大変だが、それでもやっているうちにわかる、ということで、好評だった。

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割

⑪ 支援者の名簿(⑦以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
田村 澄香	徳島県国際交流協会嘱託日本語教師	博士(文法) 日本語教育能力試験合格	8回	アドバイザー
元木 佳江	徳島県国際交流協会嘱託日本語教師	日本語教育能力試験合格	8回	アドバイザー

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

- すこしずつ、敬語がわかってきた。まわりの日本人との会話が円滑にいくようになった。
- 日本留学試験に合格した。
- この教室に来ると、気が楽になる。
- 新しい友だちが増えてうれしい。

② 学習者の習得状況

当教室に来る外国人学習者は主婦がほとんどで、結婚してからは、子供がいるためになかなか

か日本語教室に来られない。また、初めて日本語教室に参加したという学習者もいる。夫に「日本語が変だ、何を言いたいかわからない」と言われるが、何がおかしいかわからない、と言う。

日本人夫たちが普段言う、「お前がバカだから」と言うのを聞いて、外国人妻たちが「自分がバカだから」と自分を責めている、と事実がある。当教室で、「意志動詞、無意志動詞っていうのが日本語ではあるんですよ」と教えたときに、外国人学習者たちは、「わかる、できるは意志のない動詞？私が日本語がわからないのは、私のせいじゃない？日本語わからないのは、私がアホなせいじゃない？先生、この動詞を分けるカードは『幸せカード』です。私、それを聞いて、とても幸せになりました。今まで自分が悪いんだ、と思ってましたけど、神様が来ないだけね」と教える側がびつくりするような効果を生んだ。

だから、みんな、熱心だ。

また、今までは敬語がよくわからなかった学習者は、敬語を習得していくごとに、生活に自信が出てきて、周囲の日本人と話しやすくなったという。敬語の表を自宅の電話のところに貼り付けて、ゆっくりだが、敬語を使うようにしている学習者もいる。いずれも周囲の日本人と円滑に会話ができるようになったと喜んでいる。

「習ったら、すぐに忘れるけれど、でも気をつけて使っていたら、できるようになる。それがうれしい」
(ロシア人学習者)

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

この日本語教室の開催が、小松島市教育委員会の眼に止まり、副会長の村上が平成22年度小松島市人権教育学級の第1回の講師として、「外国人と人権 ～国際交流活動より他文化共生の小松島市をめざして」という演題で講演させていただいた。この文化庁委託の日本語教室のを中心、100名以上の方に聞いていただいた。

また、この講演会のことが市の広報、人権教育の広報紙「松明」に載った。この講演会に参加された各小学校のPTAでは、人権教育のおたよりで、この講演を紹介して下さった。

それから、小松島市社会福祉協議会の広報紙「ふわり」で、当教室が紹介された。

これらのおかげで、当教室の存在が市内外に広く知られることになり、関心を持ったり、様々な応援をして下さる方が増えた。

四国放送ラジオでも「土曜ワイド徳島」に2度、出していただいたおかげで、県内の様々なところから、この日本語教室の問い合わせをいただいた。

評判と口コミより、小松島市周辺だけではなく、鳴門、徳島市内、勝浦郡上勝町など、小松島から1時間ほどかかるところからも、学習者が来てくれるようになった。

そして、学習者たちの横のつながりができてきた。今までは、同じ国の友人としかつきあっていなかったのが、同じ悩みを持った新しい友人ということで、友人が増えてうれしい、と言う。

フィリピン人のクリスマスパーティーにロシア人の学習者が呼ばれていたり、新しいおつきあいができている。

お互いの国の事情を説明したり、違いにびつくりしたり、お互いの国の料理を作ってきたり、大変

和気藹々とした雰囲気の中で学習を進めることができた。

それから、前述のように、お弁当教室が、イカロス出版の取材を受け、4月に発売される「毎日お弁当日和」に掲載されることになった。学習者たちは、大変楽しみにしている。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

小松島市には日曜日に借りられる公共施設が少ないため、ボランティア団体などですぐにはいっばいになる。そのため、20回の会場探しには大変苦労した。

託児をしているため、和室があった方が望ましいし、子供たちの安全も確保しなければならない。

困り果てていたら、外国人学習者の子供が通う小松島市新開幼稚園の園長先生が、幼稚園の日曜日の使用を申し出て下さり、市の教育委員会の許可も取って下さったのは大変ありがたかった。

また、託児スタッフとして、幼稚園の父兄の方々も協力して下さった。

いらした父兄の方々が学習者たちの学習の様子を見て、学習者たちの苦労がわかった、と言われた。



それから、前述したように、講演をさせていただいたり、様々なメディアで紹介されることで、たくさんの方が応援、協力を申し出てくれるようになったのは、ありがたいと思っている。

⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

外国人学習者の横のつながりができたことで、今も数件、この日本語教室の継続するかどうかのお問い合わせを受けている。今まで、徳島県にはない、託児もする、料理教室もある日本語教室ということで、在住外国人には大変評判が高いそうだ。できれば、続けたいと思っている。

b. 今後の課題

小松島市国際交流協会はボランティア団体であり、会員は無償でボランティアをしている。

託児をすとなると、安全な場所、複数のスタッフが必要だ。また、日本語ボランティアも少ない。現在、主要なスタッフに負担がかかっているので、まず、人数の確保が必要だ。

また、ここに来られない学習者の掘り起こしも必要だ。この教室に来られる学習者は車が運転できたり、家族の同意があつて来ているが、実は問題は来られない外国人学習者の方が大きいだろう。

だから、現在来ている学習者にも手伝ってもらい、来られない学習者の掘り起こしをしていきたいと思っている。

c. 今後の活動予定, 展望

外国人学習者同志の横のつながりができたことで、「この教室をやめないでほしい」「この教室がないと困る」という要望が多かった。

ちょうど、当教室の存在と、場所がなくて困っていたことを聞いた地元企業が、自社のビルの多目的ホールの貸し出しを申し出てくれた。

また、小松島市社会福祉協議会のボランティアコーディネーターのご好意で、地元の大学のボランティア支援室とつながりができ、学生ボランティアが託児を手伝ってくれる予定だ。

そのおかげで、2011年の2月より、隔週ではあるが、託児付日本語教室を開くことになった。

また、学習者たちが中心となって、外国人の子育てサークルを作りたい、という要望がある。これも小松島市国際交流協会が補助する形で進めていくつもりである。

③その他参考資料

最後に、学習者にとつたアンケートを原文のまま、紹介したい。

「先生をはじめ、お友達のみなさま ほんとうにありがとうございました。。。日本語きょうしつにきてほんとうにいろんな勉強ができました。さいしょの時は勉強が難しかったです。でも たすかります。私はけっこんして5年になりますけど、けいごの事はぜんぜんわからなかったです。

日本語きょうしつ勉強はじまったら けい語のつかいかたとか、漢字のかきかたとかことばのいみとか少しわかりました。まだまだ一杯わからない日本語ですが、日本語きょうしつをずっと一ずっと続けたいです・・・

私は小さい子供が2人いますので勉強中の時に小さな子供をめんどろみしてくれた ありがとうございます。子供のめんどろをみなければ 私は日本語きょうしつにはこれなかったとおもいます。ほんとうにありがとうございました。」フィリピン女性

「みなさんありがとうございます。いしょに6月べんきょうしてうれしいです。こどものめんどいをみていただいて、すごくありがたいとおもいます。らいねんまたにほんごきょうしつがあつたらすぐたすかります。いろいろなくにの人ともだちになってうれしいです。」ロシア女性

「小松島の日本語の教室に行ったら、私の生活はたのしくなりました。私の心が充実し、毎日の生活もくらしよくなりました。私の日本語の進歩はすこしずつです。先生が授業をするとき、熱心さと責任感を感じました。日本の教育と素質は高いです。先生は毎日私たちに一所懸命おしえてくれました。本当にありがとうございます。」中国女性

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。

まいにち
every day

お弁当作りのモチベーションアップ・マガジン

イカロスMOOK

お弁当日和

2011

No. 2

定番のおかず
「鶏の唐揚げ」
「卵焼き」、
あと1品何を入れるの？

お気に入り
カフェメニューを
お弁当で
持ち出そう！



綴じ込み付録

「カフェプレート
ランチボックス」
お弁当BOOK

cotta

まいにち
お弁当レシピ

JUNAさん、asamiさん
トイロさん、まよ子さん
ゆりんさん

カラフル素敵Veggie弁当／庄司いずみさん
春を味わう和食弁当／富田唯介さん
野菜たっぷりおいしい！
やっぱりおいしい！

腕自慢の料理ブロガーさん30人が35レシピを伝授

大特集

おかずレシピ大集合

簡単！安い！早い！ウマイ！

オリジナル雑貨のques

tinaさん、ゆみびいさん、桃咲
マルクさん、ばおさん、luneさん、kei
さん、Farmer's KEIKOさん、管理栄養
士IDEAさん、ranranさん、さちくつかり
さん、mcmaskyさん、まゆさん、小春ちゃん
さん、モンステラさん、natsuさん、ゆりりん
さん、ロコさん、諒坊純坊さん、cottonball
さん、peguさん、みいさん、しよおさん、
BiBiさん、ryocoさん、えつこさん、
庭乃桃さん、とまとママさん、
いないいないだあさん

レシピブログ

お弁当作り初心者さん必見！

詰め方とワンポイントキャラがコツ
見栄えのいいお弁当の作り方

詰め方七変化でマンネリ弁当解消！／宮澤真理さん
かわいい女子弁はカラフル&飾り切り／ぎんまゆさん
お弁当大改造ピフォー&アフター

とある日曜日のお昼、四国では珍しく粉雪が降りしきる中、徳島県小松島市で開催された「お弁当作り講座」はちょうど様子が違っていました。全員がテキパキと素早く準備を進めています。よく見ると、金髪の女性やジルバブを身に付けたイسلام教徒女性の姿も。

実はこの講座、日本人男性と結婚した外国人のお嫁さんたちを対象にした「日本の」お弁当作り講座だったので、幼稚園入園を前に子どものお弁当作りを負担に感じるママさんたちは多いのですが、日本のママさん以上に外国人ママさんたちは途方に暮れていました。

何しろお弁当といっても、何をどうやって作って詰めたらいいのかわからない、もちろんおにぎりの作り方も知りません。残り物のうどんにソースをかけて魚を入れて、隣にバナナといったお弁当を子どもに平気で持たせてしまい、お弁当が原因で子どもがいじめられたという話すら聞かえてきます。

そんな外国人のお嫁さんの窮状を目の当たりにして、立ち上がったのが村上久美子さん。村上さんは2009年より文化庁委託事業として「わかる！出来る！！日本語教室」を徳島県小松島市で開催してきました。そもそも村上さんは小松島市国際交流協会会長であるご主人、村上治郎さんとともに徳島で長年、国際交流活動にボランティア



右/まずはレシピと調理用語の説明。野菜の名前ははっきりと知らない人も多かったよう。左/しいたけの飾り切りに挑戦するロシアから来たナタリアさんとアンナさん。

外国人のお嫁さんニッポンのBentoを学ぶ

日本が誇る携帯食「お弁当」ですが、外国の人からみたら、不思議なランチボックス。外国人のお嫁さんたちにとっては、子どものお弁当作りは大問題です。

そんなお嫁さんたちのための「お弁当講座」を開く徳島県小松島市国際交流協会の活動取材しました。

Photo: Yoshinori Tsuji



右/ウインナーの飾り切りに挑戦。いい塩梅に切り込みを入れるのが難しい！左/おにぎりの握り方を教えるコーナーで村上さんも奮闘。

お話



村上久美子さん

東京都出身、徳島県小松島市在住。小松島市国際交流協会の2002年設立に伴い理事就任、現副会長。2005年～2007年、夫のJICAシニアボランティアの随行者として中米ドミニカ共和国首都サントドミンゴ市へ赴任。ドミニカ滞在中にAPEC大学外国人スペイン語学科修了。赴任体験により在住外国人日本語教育に力を入れている。現職は塾講師。

野菜の名前、調理用語
：知らなかった！

この日集まったのは、中国、フィリピン、インドネシア、コロンビア、ロシアの出身者の計12人。調理に入る前には村上さんがまず、その日作るレシ

として関わってきただけでなく、ご主人が国際協力機構のシニアボランティアとして1年間、ドミニカ共和国に赴任するのに同伴し、異国で日常生活を送るのがいかに大変なことなのか身にしみてわかっている人です。だからお嫁さんたちが幼稚園のお弁当で困っていると聞いて、すぐ行動に移しました。お弁当作りを教えてくれる人だけでなく、地元企業にかけあつて食材の提供をお願いしたり、会場を貸してくれるところを探したりと奔走。こうして開かれたのが取材させていただいた「お弁当教室」だったので。

